

みずほCustomer Desk Report 2018/03/23 号 (As of 2018/03/22)

国際為替部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	105.66
TKY 9:00AM	105.93	1.2346	130.77	1.4145	0.7774
SYD-NY High	106.08	1.2388	131.02	1.4220	0.7793
SYD-NY Low	105.26	1.2285	129.50	1.4077	0.7688
NY 5:00 PM	105.28	1.2301	129.50	1.4101	0.7691
NY DOW	23,957.89	▲ 724.42	日本2年債	-0.1600	0.00bp
NASDAQ	7,166.68	▲ 178.61	日本10年債	0.0300	▲ 1.00bp
S&P	2,643.69	▲ 68.24	米国2年債	2.2808	▲ 2.48bp
日経平均	21,591.99	211.02	米国5年債	2.6206	▲ 5.27bp
TOPIX	1,727.39	11.10	米国10年債	2.8217	▲ 5.86bp
シゴ日経先物	20,900	▲ 280.00	独10年債	0.5275	▲ 6.30bp
ロンドンFT	6,952.59	▲ 86.38	英10年債	1.4375	▲ 9.00bp
DAX	12,100.08	▲ 209.07	豪10年債	2.6770	▲ 2.70bp
ハンセン指数	31,071.05	▲ 343.47	USDJPY 1M Vol	7.91	0.41%
上海総合	3,263.48	▲ 17.47	USDJPY 3M Vol	8.48	0.38%
NY金	1,327.40	5.90	USDJPY 6M Vol	8.65	0.30%
WTI	64.30	▲ 0.87	USDJPY 1M 25RR	-1.15	Yen Call Over
CRB指数	195.23	▲ 0.79	EURJPY 3M Vol	8.78	0.30%
ドルインデックス	89.86	0.07	EURJPY 6M Vol	8.99	0.23%

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
3月22日	9:30	豪 雇用者数変化/失業率	2月 17.5k/5.6%	20.0k/5.5%
	18:00	欧 マークイット・製造業PMI(速報)	3月 56.6	58.1
	18:00	独 IFO企業景況感/期待/現況	3月 114.7/104.4/125.9	114.6/104.4/125.6
	18:30	英 小売売上高(除自動車・前月比)	2月 0.6%	0.4%
	21:00	英 BOE 政策金利	- 0.50%	0.50%
	21:30	米 新規失業保険申請件数	- 229k	225k
		米 トランプ大統領、中国に対し少なくとも500億ドル相当の関税措置に係る大統領令に署名		

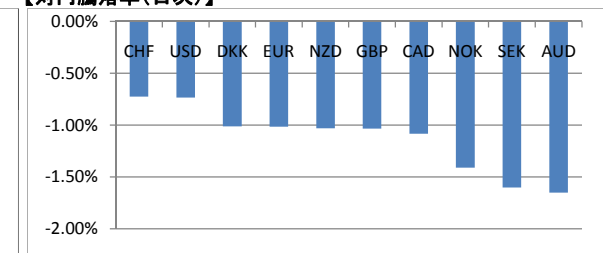
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
3月23日	8:30	日 全国CPI/コアCPI/コアコアCPI(前年比)	2月 1.5%/1.0%/0.5%	1.4%/0.9%/0.4%
	21:10	米 ボスティブ・アトランタ連銀総裁講演	-	-
	21:30	米 耐久財受注(前月比)・速報/同(除輸送用機器)	2月 1.6%/0.5%	-3.6%/-0.3%
	21:30	米 製造業受注指数	2月 0.9%	-0.3%
	23:00	米 新築住宅販売件数	2月 620k	593k
	23:30	米 カプラン・ダラス連銀総裁講演	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	103.5-105.00	1.2260-1.2360	127.00-130.00

【マーケット・インプレッション】

昨日海外時間のドル円相場は下落する展開となった。トランプ米大統領が中国製品への知財侵害関税を課すと発表したことを受け、米中貿易摩擦への懸念が高まると、欧米株は軒並み下落し、ドル円も105円台前半まで下落。東京時間朝方にはドル円は一段と下落する展開となり、2016年11月以来となる105円割れを示現した。本日のドル円は引き続き上値重く推移すると予想。貿易摩擦を巡る懸念が広がり、投資家のリスク回避姿勢が強まる中、中国による米国の制裁関税に関する反応や株価の動向を睨みながら、ドル円相場も104円台後半を上値として軟調に推移しそうだ。

アジア	東京時間のドル円は105.93レベルでオープン。前日のFOMCで事前予想通り利上げが決定されたが、パウエルFRB議長会見においては想定よりもハル派なスタンスが示されたことや、米国の通商政策を巡る混乱拡大への警戒感からか、仲値にかけて一時105.58へ下落。一巡後は堅調な日経平均を横目に次第に値を戻し、105.87レベルで海外時間へ渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、105.87レベルでオープン。本日、米大統領が、米通商法301条に基づき、中国に対する貿易制裁の発動を命じる文書に署名すると報道され、さらに中国も、「絶対に座視しない」と報復を強く警告したことから、リスク回避ムードが強まり、105.54まで売られ、105.64レベルでNYに渡った。ユーロは、1.2347レベルでオープン。ユーロ圏総合購買担当者景気指数(PMI)速報値が55.3と、予想(56.8)を大幅に下回ったことや、独3月IFO企業景況感指数が、11ヵ月ぶり低水準(114.7)となったことで、1.2307まで下落。1.2328レベルでNYに渡った。ポンドは、1.4145レベルでオープン。英2月小売売上高指数は前月比0.8%上昇し、予想(0.4%)を上回る伸びを示し、1.4179まで買われ、1.4175レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は105.54まで下落し、105.64レベルでNYオープン。朝方は海外時間の流れを引き継ぎ、米紙が米国はWTOに中国を通商法違反で提訴を発表予定と報じたこともあって、105.26まで下落する。その後は105.65まで戻す局面もあったものの、中国が米国の関税に対し幅広い報復を用意との噂を受け、軟調なダウが下げ幅を拡大し、約500ドル下落する展開に円が買われ105.31まで下落する。午後は株式市場が一旦下げ幅を縮小させる展開に、ドル円も105.81まで戻すが、株式市場が再び下げ幅を拡大させる展開にドル円は反落し、105.28レベルでクロスした。一方、ユーロは前日のFOMC結果を受けたドル売りで1.2388まで上昇するものの、3月ユーロ圏PMIが予想を下回ったことや、米国と中国の貿易戦争に対する懸念からユーロ円が下落する展開に1.2307まで反落し、1.2328レベルでNYオープン。朝方は狭いレンジでの推移が続くが、株安を受けたユーロ円の下落に連れて1.2285まで下落する。午後は狭いレンジでの推移が続き、1.2301レベルでクロスした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様自身の判断でなされるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当:伊藤・西谷